

平成30年度東京都立北豊島工業高等学校（全日制）学校経営計画

東京都立北豊島工業高等学校長 杉浦 文俊

1 目指す学校

本校は創立98年目の伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人財、「本校で学んだ知識と技術を活用して社会に貢献する」ことができる人財の育成を目指すために以下のとおり具体的に目指す学校像を示します。

- (1) 自他共に大切にすること人権尊重の精神に基づいて日々の教育活動を推進し、いじめや体罰のない学校
- (2) 主権者として将来の社会を支えるための態度と能力を身に着けさせる学校
- (3) 職業人としての基本的な生活態度である「法令順守」、「時間を守る」、「その場に合った適切な言葉づかいとあいさつができる」、「約束を守り、他者からの信頼に応える」などの規範意識とそれを実現する態度と能力を育成する学校
- (4) 基礎・基本を大切に社会で役立つ確かな学力を身に着けることができる学校
- (5) 将来、職業人として任された仕事をきちんと責任を持って行うための「気力と体力」を育成することができる学校
- (6) 上記(1)から(5)について達成度が十分でないと判断した生徒に対しては、本校教職員が特別な指導をし、当該生徒に必要な態度と能力を身に着けさせて、卒業させる学校
- (7) 教育活動の円滑な実施に向けて、自律経営推進予算の適正な執行及び計画的な予算執行を行う学校
- (8) 保護者、地域及び地域産業界から信頼され、共に一体となって教育が推進できる学校
- (9) 都立高等学校としての責務を果たすため、法令順守の徹底及び説明責任が果たせる学校

2 中期的目標と方策（創立100周年を迎える平成32年まで）

(1) 目標

「100周年を迎えるにあたり、工業高校の原点である一人でも多くの有能な職業人を輩出させる使命を果たすため学校改善を行います。」

(2) 方策

①教育課程、教育活動の改善

- ・入学してきた生徒の学力等を十分に研究し、真に生徒に身に着けさせたい学力と技能を「学びなおし」をも視野に入れ、日々の教育活動を充実させます。
- ・生徒の実態と社会から求められる新たな知識や技術・資格に対応した教育課程の検討及び実施をします。
- ・評価の観点等の合理的な説明ができるように校内規定等の改善、整備を行います。

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて都立工業高校として特色ある教育活動を通して、生徒の生涯の記憶に残る取組みを行います。

②生徒指導の改善

- ・職業人としての必要なルールやマナー教育を徹底すると共に、部活動の活発化、地域のボランティア活動の推進などを通して生徒の自己肯定感の育成を図り、学校への帰属意識を向上させます。

③進路指導の徹底

- ・入学時からのキャリア教育と資格取得指導を更に充実させ、併せてインターシップの実施及びデュアルシステム実施・拡充などを通し、生徒の職業観の醸成と具体的な職業に結び付ける指導を徹底し、進路決定率100%を堅持します。

④学校運営・学校経営の改善

- ・組織原則に従って職務を遂行し、各教職員は自らの職責を理解し、その権限と責任の範囲で積極的に教育活動を行い特定の教職員が仕事を抱え込むことを防止し、相互に支え合う教職員集団「チーム北豊島工業」としての組織力の向上を図ります。
- ・本校の教育活動を中学生や保護者、中学校など広く都民に発信する機会を増やします。
- ・100周年記念式典をPTA、同窓生、地域の方々の協力の下、円滑に実施できるよう準備を行います。
- ・働き方改革として、勤務・職務への取組み・在り方を見直し、ライフ・ワーク・バランスを組織全体で実践していきます。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標

- ・入学した生徒が一人でも多く卒業するために教職員が努力する学校
- ・生徒の学力と体力の向上
- ・生徒が希望する進路の確実な実現
- ・自己肯定感・自尊感情を高める指導

(2) 実現のための方策

ア 学校経営・組織体制

- ① 組織原則に従って職務を遂行し、各教職員は自らの職責を理解し、その権限と責任の範囲で積極的に教育活動を行い特定の教職員が仕事を抱え込むことを防止し、相互に支え合う教職員集団「チーム北豊島工業」としての組織力の向上を図ります。
- ② 服務に厳正に期すると共に、教職員の接遇マナーを心掛け、保護者、地域からの信頼に応えます。
- ③ 都の指針に基づき、各種個人情報情報を適正に取り扱うと共に個人情報管理を徹底します。
- ④ 入学してきた生徒を責任もって指導し、中途退学（転学も含む）の大幅減少に取り組めます。
- ⑤ (1) の目標を達成するにあたり、教職員からの有用な提案を企画調整会議で積極的に取り上げ、実施します。
- ⑥ 若手教員を含め教職員相互で互いに高め合う研修等を充実させるなど OJT を推進します。

⑦ライフ・ワーク・バランスへの取組みとして、超過勤務時数の多い職員への指導・面接等を行います。週休日等の部活動指導を行った場合、振替による休息確保の指導を行います。

イ 学習指導

- ①基礎・基本の定着と学習意欲の向上を図るため、自作教材やプリント、実験、実習やICT機器の効果的な活用など、各教員が生徒の実態に応じた創意工夫がある「わかる授業」を推進します。
- ② 学力向上研究（校内寺小屋事業）を活用し、基礎学力の育成・定着を図ります。
- ③工業科における実習のレポートや製図の作品などの速やかな提出を促すため、適切な指導と評価方法を実施します。
- ④アクティブプラン to 2020に基づき、体育の実技指導や体力テストを通じて体力の向上を目指します。
- ⑤学習活動の成果を発揮させるため、学校外での発表会や大会への参加を促進します。
- ⑥各種検定や資格取得に挑戦する機会を増やし、合格できる指導を積極的に行います。
- ⑦読書活動及び各教科や特別活動における「調べ学習」などで学校図書館の積極的な利用を促し、生徒が自ら探究する意欲と態度を育成します。

ウ 生活指導

- ① 内組織をはじめスクールカウンセラーや関係機関とも連携し、家庭とのきめ細やかな連絡・相談を行い、いじめなどの問題行動、遅刻防止、長期欠席者などへの早期対応を行い、それぞれの取組を通して中退者を減少させます。
- ②「法令順守」、「時間を守る」、「その場に応じた適切な言葉づかいとあいさつができる」「約束を守り、他者からの信頼に応える」の指導を徹底します。
- ③タイムリーな話題に基づくセーフティー教室を企画・運営し、各種問題行動の未然防止に努めます。
- ④交通ルールの徹底、交通事故の未然防止のため、交通安全教育を積極的に行います。

エ 進路指導

- ①全学年を通して体系的なキャリア教育を更に充実させると共に、関係機関と連携した進路ガイダンスなどの進路指導を推進します。
- ②就職試験に対応できる力（SPI検査、作文、面接）や技能（資格取得など）を身に付けさせ、進路決定率100%を実現します。
- ③2学年インターンシップ全員参加、3学年デュアルシステムに生徒を積極的に参加させ、その経験等を自己の進路活動に役立てると共に次学年のために発表する場を設けます。

オ 特別活動・部活動など

- ①体育祭、文化祭などの学校行事や生徒会活動を活発化させて、生徒の帰属意識を高める指導を行います。
- ②生徒の部活動加入率を向上、活性化を図り、生徒の自己肯定感・自尊感情を高めていきます。指導者のいない部活においては、外部指導員を積極的に活用します。対外試合や競技会などの成果発表を積極的に行います。
- ③地域の行事等や外部施設等での活動に積極的に生徒を参加させることで、生徒の自己肯定感の育成を推進します。

カ 健康・安全・防災

- ①地域や関係機関からの協力を得て、計画的に年4回以上の防災訓練を実施する共に2学年で実施する「上級救命講習」へ全生徒の参加し、自助・共助の精神を育成します。
- ②生徒の健康診断の確実な受診を担当と連携して実施します。また、生徒の健康への意識向上させる食育や薬物乱用防止の健康推進教育などの取組みを積極的に実施します。
- ③スクールカウンセラーと担任を始め各教員が連携し、生徒や係る保護者の悩みにきめ細かに対応を行います。また1学年全員面接も確実に実施します。
- ④保護者、スクールカウンセラー、関係機関と連携し、「特別に支援が必要な生徒への支援のあり方」を検討、具体化させます。
- ⑤学習環境（教室や実習工場等）の整備を常に行い、安心・安全な学習環境を維持します。

キ 募集・広報活動

- ①本校の生徒の姿や教育活動の成果を広く中学生、その保護者、中学校教員、地域に紹介するためにあらゆるシーンで積極的に募集・広報活動を行います。
- ②募集対策として、学校見学会（2回以上）、学校説明会（2回以上、参加者400名以上）、一日体験入学（1回）を実施します。
- ③本校の理解促進のため中学校教員向け見学会等を1回以上実施します。
- ④小中学生を対象とした「わくわくどきどき夏休み工作スタジオ」を工業科教職員を中心に全教職員で取り組みます。
- ⑤ホームページを更に充実させ、更新回数を増やし本校の教育活動及び魅力を広く都民に発信します。
- ⑥都民を対象とした「公開講座」や「施設開放」を円滑に実施します。

(3) 重点目標と方策

ア 各分掌等の組織としての重点目標（各組織の構成メンバーの協力のもとで行う）

- ①1学年・・・中退（転学も含む）者減少への取組み（学力向上と生活指導を中心に）
- ②2学年・・・インターンシップの全生徒参加、中退者減少への取組みの継続
- ③3学年・・・進路決定率100%の実現への取組み
- ④教務部・・・入学選抜の円滑な実施に向けた取組みの推進及び広報活動の充実
- ⑤生徒指導部・・・事故防止の未然指導及び生活規律の徹底
- ⑥進路指導部・・・3学年と協力し、生徒の進路決定率100%
- ⑦環境部・・・校内美化、ゴミ減量への取組の推進
- ⑧工業科・・・インターンシップ、デュアルシステムの円滑な実施を学年や分掌と協力して主体的に行う。座学及び実習のレポートや製図の作品の評価について説明責任が果たせるようにエビデンスに基づき適切に実施する。

イ 各種取組み重点目標と方策、数値目標との関係について

目標名	主な方策 実現ための方策から	数値目標・その他
中途転退学者の減少 (学力の向上と魅力ある学校生活)	ア学校組織① イ学習指導①②③⑤⑥ ウ生活指導① エ進路指導① オ特活等①②③ カ健康安全③④ キ募集広報①②③⑤	中途転退学者数 1 学年→30名以内 2, 3 学年→前年度の50%以下
希望進路の実現 (卒業までを見通したキャリア教育)	ア学校組織①②③ イ学習指導①②③⑤⑥ ウ生活指導① エ進路指導①②③ オ特活等②③ カ健康安全③④ キ募集広報①②③⑤	進路決定率100% 各資格合格者前年度15%以上 UP インターンシップ2 学年全生徒参加 デュアルシステム中途脱落者ゼロ HP 更新年80回以上
安心・安全な学習・ 生活環境の維持・推 進	宿泊防災訓練 上級救命講習 ア学校組織①②③ イ学習指導①②⑦ ウ生活指導①②③④ カ健康安全①②③④⑤	全1 学年生徒参加 全2, 3 学年生徒参加 いじめゼロ 体罰ゼロ 自殺ゼロ
広報活動の積極的 な展開	ア学校組織①② ウ生活指導② オ特活等②③ キ募集広報①②③④⑤ ⑥	学校見学会(2回以上)、学校説明会(2回以上、参加者400名以上)、一日体験入学(1回) 中学校教員向け見学会等1回 HP 更新年80回以上
学校運営の改善	ア学校組織①②③⑤⑥ イ学習指導①②③ オ特別活動・部活動② カ健康安全③④	学校評価アンケート等の外部評価 高評価90%以上の実現 部活動加入率75%以上 サービス事故ゼロ 教員の週当たりの在校時間60時間以内